

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市東地区中心市街地複合施設		
指定管理者	タイムズ・日本管財グループ		
設置目的	舞鶴市の東地区における中心市街地の道路交通の円滑化、商店街の振興等を図り、当該中心市街地の都市機能の向上に資するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
所管課	産業振興部産業創造室産業創造・雇用促進課		

2 利用状況等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐車場利用台数(台)	16,184	15,727	17,292	15,905	18,775
コミュニティ施設利用件数(件)	122	96	67	60	61
利用料金(円)	21,215,520	21,333,230	19,837,933	17,307,313	13,573,040
納付金(円)	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
駐車利用台数	22,000台	17,000台	18,775台	110%
施設利用人数	10,000人	2,400人	1,496人	62%
自主事業実施件数	6件	6件	2件	33%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	13,573,040	人件費	7,535,880
指定管理料	0	維持管理費	10,707,644
事業収入	1,524,000	事業費	0
その他	1,500,000	その他	1,800,000
合計	16,597,040	合計	20,043,524
差額			△3,446,484

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	近隣ホテルの宿泊者の駐車場利用により、利用台数が増加した一方、駐車場一般利用、施設利用の減少により収入は減少した。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	地域振興策として近隣に開業したホテルの提携駐車場となる等商店街との連携を図った。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	駐車場施設としては一定の需要がある。ただし、施設の利用に関しては特定の利用者に留まっているため、地域コミュニティの場として更なる利用促進を図りたい。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	カーシェアリングは指定管理者の強みを生かした事業であり、特に観光客や近隣ホテルの宿泊者に多く利用された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	近隣ホテルとの連携により、利用者の拡大に努めた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	駐車場・貸しスペースともにリピートして利用いただき、満足が得られた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケート用紙と投函箱を常時設置していた。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	特になし。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	施設利用者への節電依頼・消し忘れチェック等、職員による意識的な取組が行われた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	補修・修繕を必要最低限に抑えるために、施設機器類の適切な使用が行われた。
収入増加のための取組が行われたか	○	ウェブサイトやスマートフォンアプリの活用等が行われ、実際の利用にも繋がっている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	サービスの低下を招かない必要最小限の人員配置が行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適切に行われている。
施設の平等な利用が行われたか	○	平等な利用が行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
情報の公開が適切に行われたか	○	施設紹介のパンフレットを常設（配置）し、市HPにも掲載し適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に処理されている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	定期的な保守点検が適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	経年劣化により至るところに不良箇所が見られるが、危険箇所などは早急に修繕する等の対策を行っている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に管理されている。
(5) その他コメント		
サービス向上	施設の利用率の低下については過去から継続的な課題であったが、駐車場管理業務を担う民間のノウハウを活かした工夫をし、利用率の向上が図られた。駐車場位置情報・満空情報をウェブサイト（PC、携帯電話配信）やスマートフォン検索アプリにて配信する等、現代のニーズに合ったサービスや、利用者の利便性を考慮した取組が行われた。	
経費削減	施設内照明や機器の適切な利用に関して利用者への声かけをすることで節電を図り、職員による意識的な活動が行われた。	
施設の維持・管理	施設の老朽化が著しく修繕必要箇所が散見されるが、専門業者による定期的な設備点検（各機器類点検・保守）をはじめ、担当職員による日常的な施設管理（受付事務・清掃・警備・除雪など）等、適切な維持・管理が行われている。急なトラブルに対しても対応できる体制が整っている。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.2点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>駐車場利用台数が大幅に増加したにもかかわらず、利用料金が大幅に減少した理由の具体的説明がなされていない。</p> <p>商店街とのタイアップを期待したが、結果的にその機能を果たすことができなかった。</p> <p>自主事業を6件行う目標に対して2件の実績しかなく、このようなことが利用料金の減収になったと思われる。</p> <p>駐車場利用は増加したが、複合施設としての自主事業が足りない。</p>	

《参考》 過年度の評価点

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
2.33点	2.75点	2.66点	2.66点	2.6点